

入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

令和 6 年 1 0 月 2 日

国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産技術研究所南勢拠点長 鈴木 俊哉

1. 調達内容

- (1) 調達件名 南勢庁舎海水取水管点検整備・管内清掃その他業務 一式
- (2) 調達仕様 入札説明書による。
- (3) 履行期限 令和 7 年 1 月 3 1 日
- (4) 履行場所 三重県度会郡南伊勢町中津浜浦 4 2 2 - 1
国立研究開発法人水産研究・教育機構
南勢庁舎
- (5) 入札方法 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の 1 0 0 分の 1 0 に相当する額を加算した金額（当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の 1 1 0 分の 1 0 0 に相当する金額を入札書に記載すること。

2. 競争参加資格

- (1) 国立研究開発法人水産研究・教育機構契約事務取扱規程（平成 1 3 年 4 月 1 日付け 1 3 水研第 6 5 号）第 1 2 条第 1 項及び第 1 3 条の規定に該当しない者であること。
- (2) 令和 4 ・ 5 ・ 6 年度国立研究開発法人水産研究・教育機構競争参加資格又は全省庁統一資格の「役務の提供等契約」の業種「建物管理等各種保守管理」の資格保有者であること。
- (3) 国立研究開発法人水産研究・教育機構理事長から物品の製造契約、物品の販売契約及び役務等契約指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。ただし、全省庁統一資格に格付けされている者である場合は、国の機関の同様の指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 7 7 号）第 3 2 条第 1 項各号に掲げる者でないこと。

3. 入札説明書等の交付方法

- 競争参加希望者は、以下により入札説明書等（入札説明書、入札心得書、契約書案、入札書様式、委任状様式等）の交付を受けること。
- ① 直接交付
三重県度会郡南伊勢町中津浜浦 4 2 2 - 1
国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所
南勢庁舎管理チーム
電話 0 5 9 9 - 6 6 - 1 8 5 0
F A X 0 5 9 9 - 6 6 - 1 9 6 2
- ② 宅配便着払いによる交付
任意書式に「南勢庁舎海水取水管点検整備・管内清掃その他業務入札説明書宅配便にて希望」と記入し、社名、担当者名、住所、電話番号を記載のうえ、上記①あて F A X 送信すること。
- ③ メールによる交付
「南勢庁舎海水取水管点検整備・管内清掃その他業務入札説明書メールにて希望」と記入し、社名、担当者名、メールアドレス、電話番号を記載のうえ、上記①あて F A X 送信すること。

4. 入札説明会の日時及び場所等

仕様書等に記述されている事項については、入札説明会において、必要に応じて、質疑応答を行う。また、入札説明会において、必要に応じて、質疑応答を行う。また、入札説明会において、必要に応じて、質疑応答を行う。

5. 入札の日時及び場所等

(1) 入札の日時及び場所

令和6年10月24日 14時00分 - 15時00分
三重県立南勢庁舎 南勢庁舎 3. ①に同じ。

(2) 郵便による入札書の受領期限及び提出場所

令和6年10月24日 12時00分
3. ①に同じ。

6. その他

(1) 契約手続きにおいて使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨。

(2) 入札保証金及び契約保証金

免除。

(3) 入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書及び入札に関する条件に違反した入札書は無効とする。

(4) 契約書作成の要否

要。

(5) 落札者の決定方法

予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。

(6) 競争参加者は、入札の際に国立研究開発法人水産研究・教育機構の資格審査結果通知書写し又は全省庁統一資格の資格審査結果通知書写しを提出すること。

(7) 詳細は入札説明書による。

7. 契約に係る情報の公表

(1) 公表の対象となる契約先

① 当該契約先(役員経験者)が再就職していること又は課長と相当職以上の職を兼ねる者(課長相当職以上経験者)が役員、顧問等
② 当該契約先との間の取引高が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること
※注1 「当機構」とは、改称前の独立行政法人水産総合研究センター及び国立研究開発法人水産総合研究センター、統合一元行政法人水産大学校を指す。
※注2 「役員、顧問等」とは、改称前の独立行政法人水産総合研究センター及び国立研究開発法人水産総合研究センター、統合一元行政法人水産大学校を指す。

(2) 公表する情報

① 当該契約先(役員経験者)が再就職していること又は課長と相当職以上の職を兼ねる者(課長相当職以上経験者)が役員、顧問等
② 当該契約先との間の取引高
③ 総売上高又は事業収入に占める当該契約先との間の取引高の割合が、次の区分のいずれか
④ 一者応札又は一者応募である場合はその旨

(3) 当機構に提供していただく情報

① 契約締結日時時点で在職している当機構OBに係る情報(人数、現在の職名及び当

機構における最終職名等)

② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高

(4) 公表日

契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内(4月に締結した契約については原則として93日以内)

(5) その他

当機構ホームページ(契約に関する情報)に「国立研究開発法人水産研究・教育機構が行う契約に係る情報の公表について」が掲載されているのでご確認ください。また、所定の情報の当機構への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくようご理解とご協力をお願いいたします。なお、応札若しくは応募又は契約の締結をもって同意されたものとみなさせていただきますので、ご了解願います。

8. 公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について

当機構では、国より示された「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」(平成19年2月15日文科科学大臣決定)に沿って、公的研究費の契約等における不正防止の取り組みを行っており、取り組みのひとつとして、取引先の皆様に「国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項」(URL: http://www.fra.affrc.go.jp/keiyaku/pledge_request/note_contract.pdf)をご理解いただき、一定金額以上の契約に際して、当該注意事項を遵守する旨の「誓約書」の提出をお願いしています。

公的研究費の不正防止関係書類(①公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について、②国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項、③誓約書)は、入札説明書に添付しますので、契約相手方となった場合は、誓約書の提出をお願いします。

なお、当機構の本部、研究所、開発調査センター、水産大学校いずれか1箇所に1回提出していただければ、当機構内の次回以降の契約では再提出する必要はありません。

業 務 仕 様 書

1. 件 名 南勢庁舎海水取水管点検整備・管内清掃その他業務
2. 業務目的 本業務は、海水取水設備における取水能力を回復させることにより飼育実験等に使用する海水の安定供給を図ることを目的とし、取水先端部、取水管、着水槽内、浮標ブイの点検整備及び付着堆積した海生生物等の除去清掃を実施すること。
また、生け簀を固定しているアンカーとロープの接続部について点検を行うこと。
3. 業務場所 三重県度会郡南伊勢町中津浜浦422-1
国立研究開発法人水産研究・教育機構
南勢庁舎
4. 履行期限 令和 7年 1月31日
(点検整備及び清掃完了期限：令和 6年12月27日)
(報告書提出期限 : 令和 7年 1月31日)
5. 業務内容 (1) クラゲ流入防止網取外し・清掃・取付
潜水士が目視によりクラゲ流入防止網（以下、防止網）の生物付着状況の確認を行った上で防止網を取外して清掃を行い、現状復旧を行うこと。
(2) 海水取水設備清掃・点検整備
 - ① 取水先端の点検整備・清掃
潜水士が目視により取水先端部の付着状況の確認を行い、清掃作業を行うこと。また、腐食状況及び不具合箇所の点検を行うこと。
取水先端部架台に取付けられているアルミニウム合金陽極（4個）の点検をすると共に残存量を確認すること。
底部防食板の埋没度合い（堆積物の深さ、堆積物量の推定）について確認すること。
 - ② 着水槽内の点検整備・清掃
着水槽底部の状況を点検し、堆積物を水中ポンプにより排出すること。
着水槽内吐出管に取付けてあるアルミ合金陽極（6個）の点検をすると共に残存量を確認すること。
 - ③ 取水管内の点検整備・清掃
取水管（φ450 L=約220m 1本）内の付着物の清掃作業はポリピグ工法で行い、着水槽側から取水先端側に向けてポリピグ（クリスクロス450A）を2回圧送して行うこと。

また、同作業に必要なポリピグ、ランチャーは当所の保有物を使用すること。

エルボ管架台に設置されている防食板（４個）の点検をすると共に残存量を確認すること。

④ 浮標ブイの点検整備・清掃

潜水士が目視により浮標ブイ及び浮標ブイチェーンの付着状況の確認を行い、清掃後に腐食状況等の不具合箇所の点検を行うこと。

浮標ブイ本体及び本体下部に取り付けてある防食板（２個）の点検をすると共に、残存量を確認すること。

(3) 生け簀用固定ロープ点検

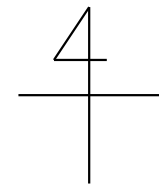
① 潜水作業により海底アンカーとタンバーフロートに連結されているロープの接続部（シャックル）について、腐食状況及び不具合箇所の点検を行うこと。（図2参照）

※最深部の水深は満潮時で約13m

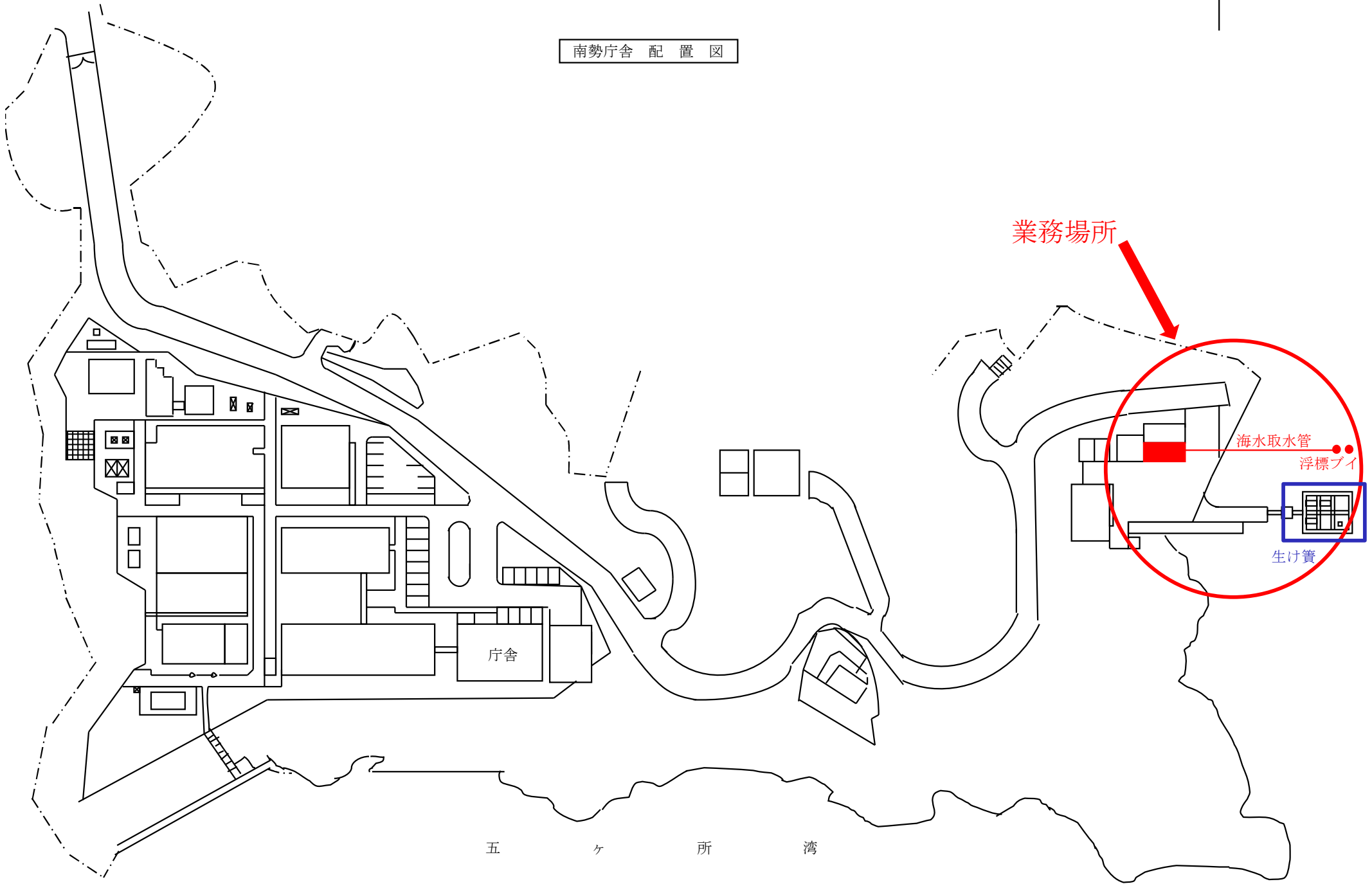
② 点検の結果、交換部品が必要な場合は、当初担当職員と打合せの上その指示に従うこと。

6. 特記事項
- (1) 取水管内の清掃作業中に、請負業者の責に寄るポリピグの詰まり事故等が発生した場合の費用については請負業者が負担すること。
 - (2) 取水に支障が生じた場合には当所担当職員と協議の上、早急に取水確保に努めること。
 - (3) 着水槽内に設置されている吐出管（エルボ管）を取り外した場合は、当該作業当日中に吐出管の現状復旧を行い担当職員へ報告をするとともに、確認を受けること。
 - (4) 大潮など、潮汐により着水槽内設計 LWL の TP-1.149mよりも潮位が下がることが予測される場合には作業工程上取水サイホン切れを起こさぬよう工事日程を調整するなど十分注意を図ることとともに、当該日に作業を行う必要がある場合には担当職員と協議すること。
 - (5) 業務期間は5日程度とし、作業時間は8時30分から17時15分までとする。
また、海水取水ポンプの運転停止については担当職員と協議の上、停止を行うこと。
 - (6) 本業務により発生した廃材等は、法令に従い適正に処分すること。
 - (7) 本業務を実施するにあたり、海上保安庁への申請を行うこと。
 - (8) 業務の各工程においては写真撮影を行い、業務終了後に点検結果を取りまとめた報告書と共に関係資料を提出すること。

7. その他
- 詳細については、作業の安全を確保するため担当職員の指示に従うこと。



南勢庁舎 配置図



業務場所

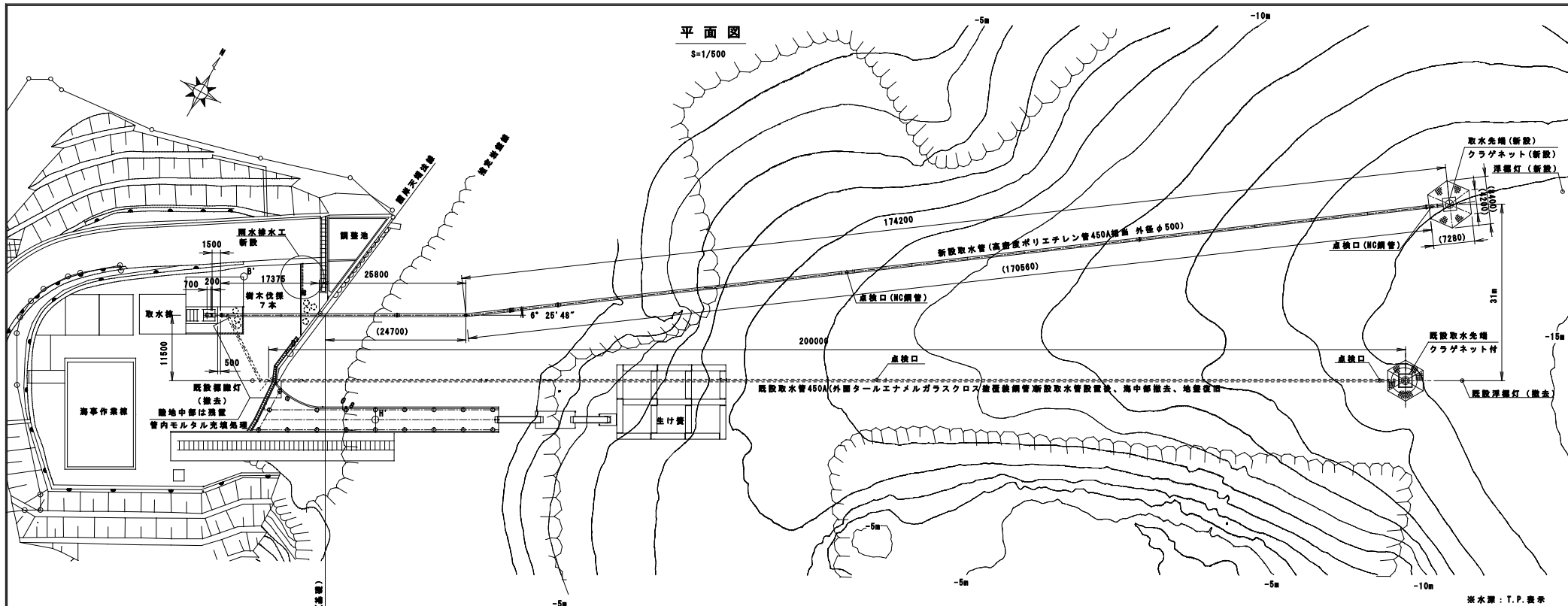
海水取水管

浮標ブイ

生け簀

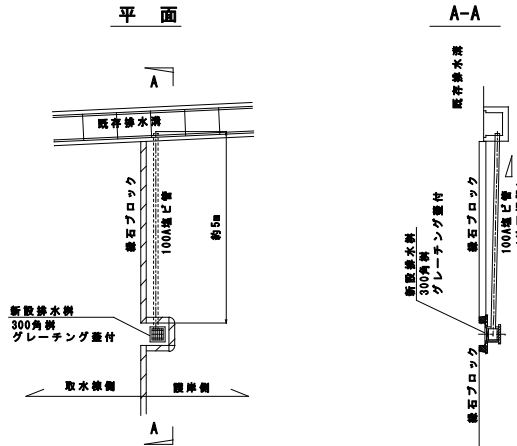
庁舎

五ヶ所湾



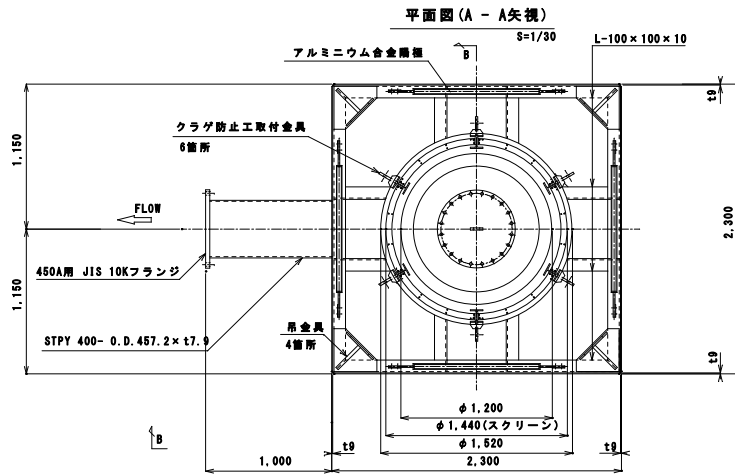
平面図
S=1/600

雨水排水工
S=1/100

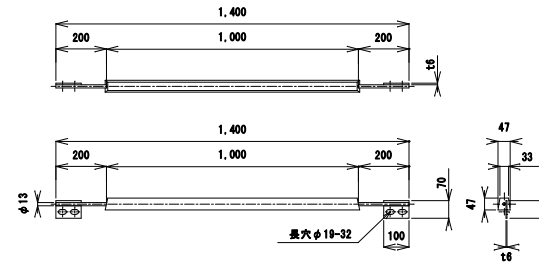


場 所	三重県度会郡南伊勢町中津浜浦422-1	占用面積 (海域の占用)
施設名称	増養殖研究所南勢庁舎	$A=(24.7+170.56) \times 0.5 + (4.2+8.4) / 2 \times 7.28$
工事名称	増養殖研究所南勢庁舎 海水取水更新工事	=97.63 + 45.86
工事目的	既設取水管の老朽化による海水取水管更新工事 既設取水管近傍に新設取水管を敷設する。 新設取水管敷設後に既設取水管(海中部)を撤去する。	=143.49m ²
主要構造	取水先端(鋼製)、点検口(鋼製) 取水管(高密度ポリエチレン管) 臨岸より沖合約200mの埋設管	

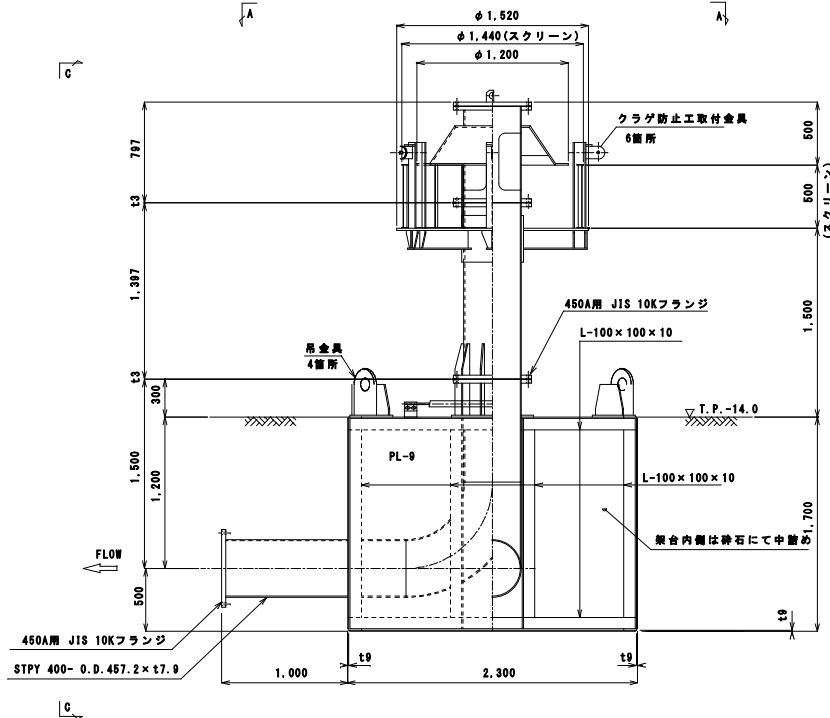
記 事	承認			承認	検閲	担当	工事名称	縮尺	図面NO.
							図面名称 竣工図 取水管平面図(海域の占有)	S=1/500	



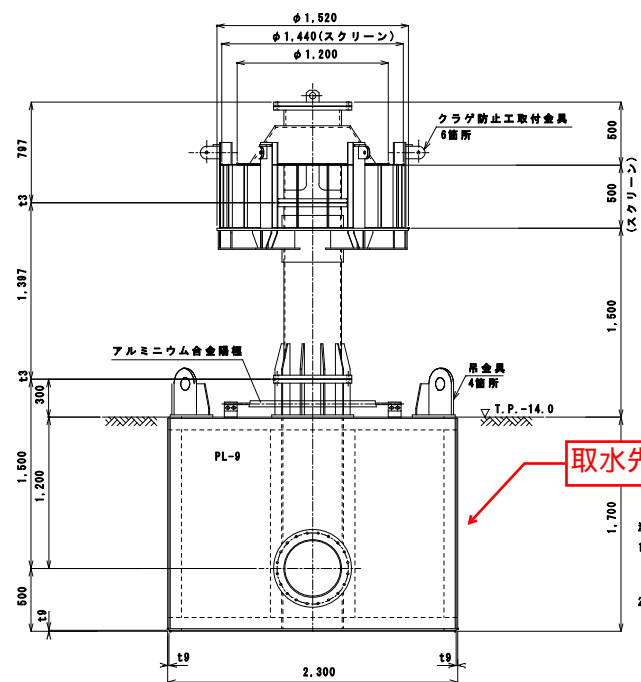
(機種仕様)		(機種数量)	
型式	ALAP-KS-56A-100	機種取付場所	数量
耐用年数	10年	取水先端	4個/基×1基=4個
寸法	(33+47)×47×1000mm	クラグ防止7L-A	1個/本×6本=6個
正味重量	4.72 kg		



断面図 (B - B 矢視)
S=1/30



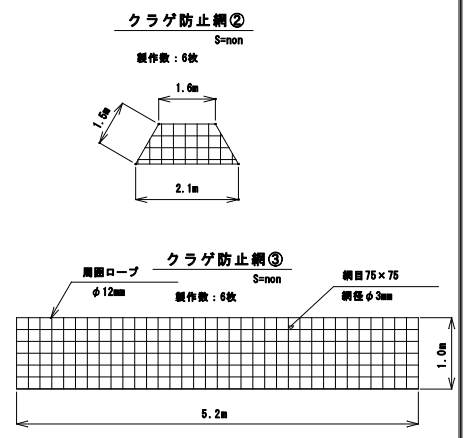
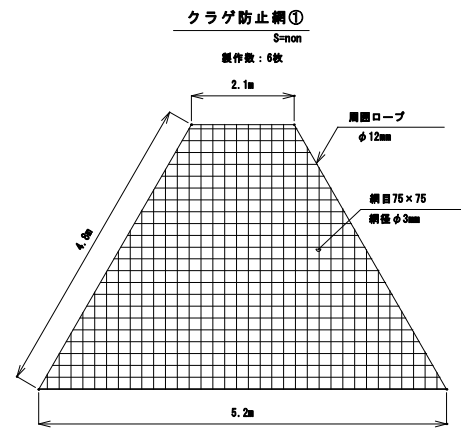
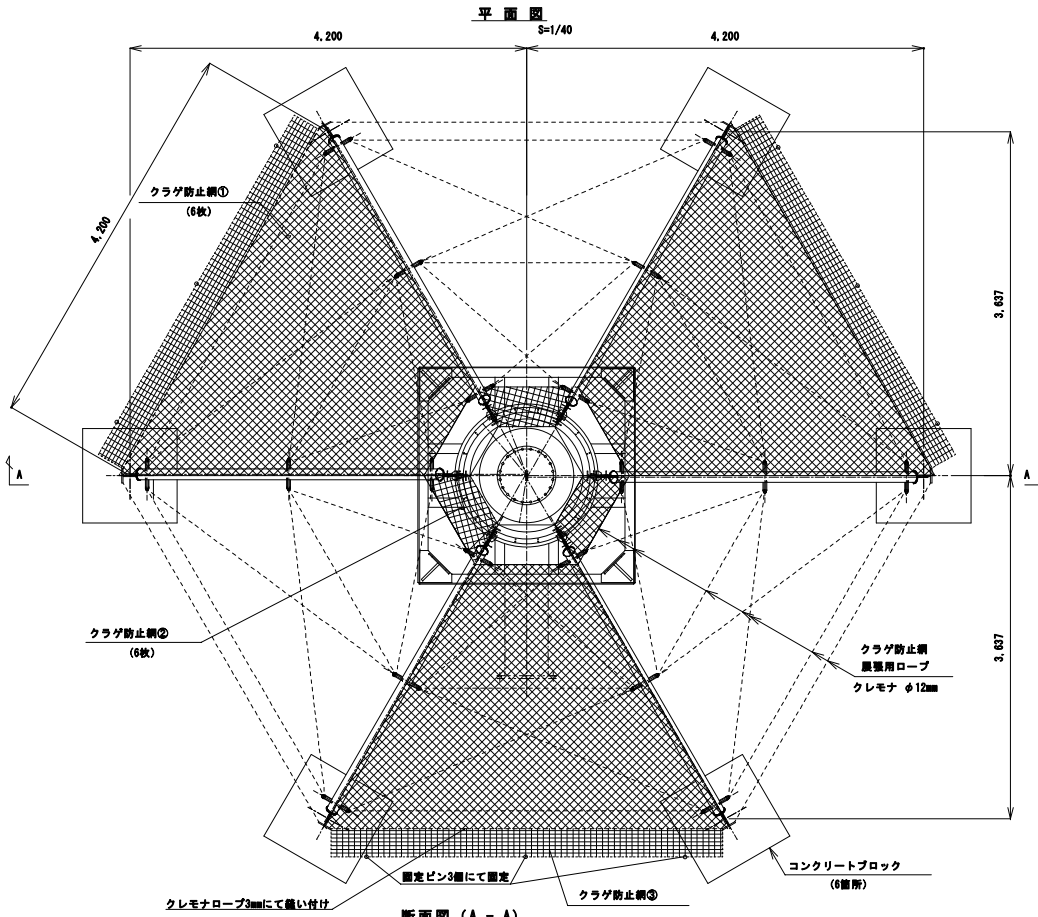
正面図 (C - C 矢視)
S=1/30



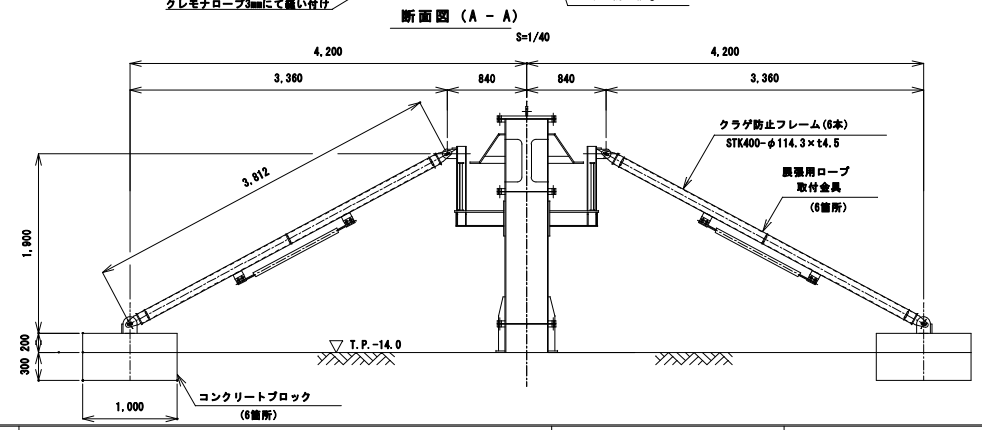
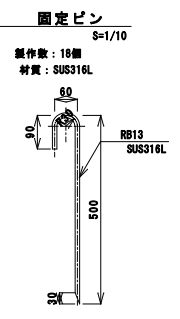
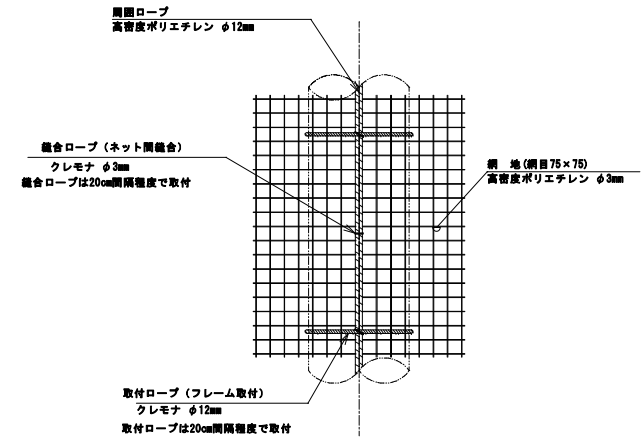
取水先端部架台

- 注記)
- 材質 :
鋼管部 : STPY400-450A×t7.9
その他 : 特記なき場合SS400
ボルト・ナット・ワッシャー : 特記なき場合SUS316L
 - 塗装仕様 : 環境対応型タールエポキシ樹脂塗膜3回塗り

記 号	工事名称			縮尺	図面NO.
	図面名称			S=1/30	
* 注	承認	検閲	担当	竣工図 取水先端一般図	

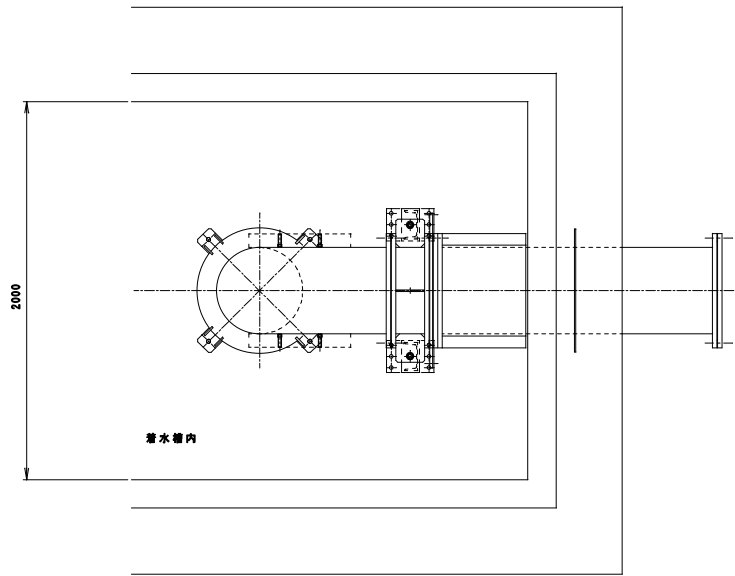


クラグ防止網取付要領図
S=non

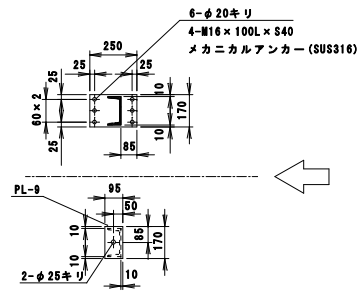
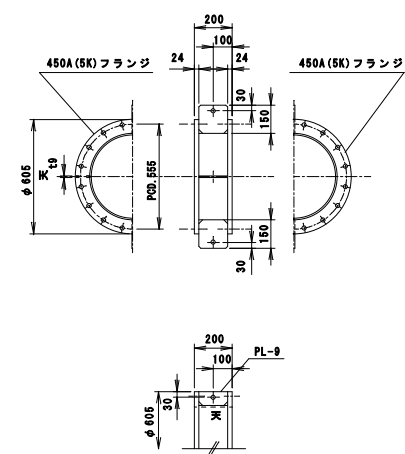


- 注 記)
1. 網材質: 高密度ポリエチレン
 2. その他 寸法は全て仕上がり寸法とする。
 3. 塗装仕様: 環境対応型カールエポキシ樹脂塗料3回塗り

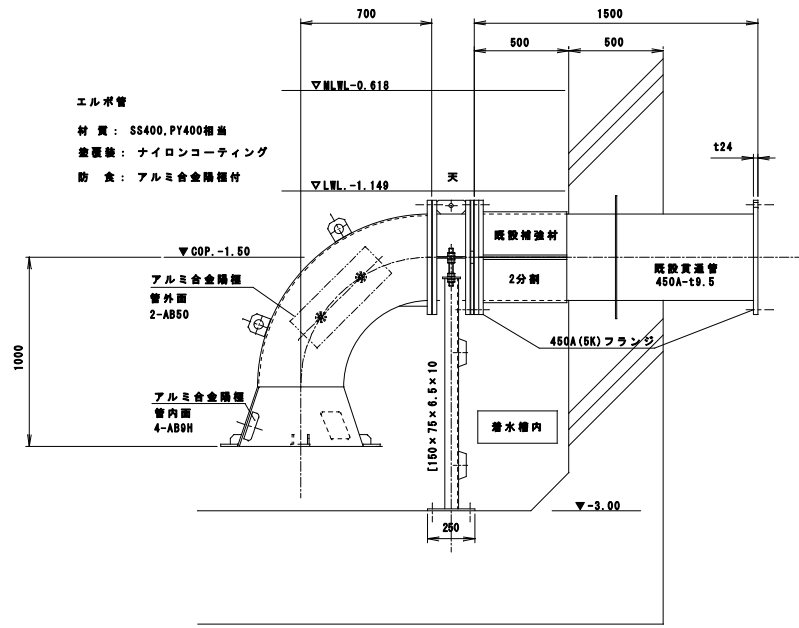
No.	承認			工事名称	縮尺	図面NO.
	承認	検閲	担当	竣工図 クラグ防止工一般図	S=1/40, 1/10	
図面名称						



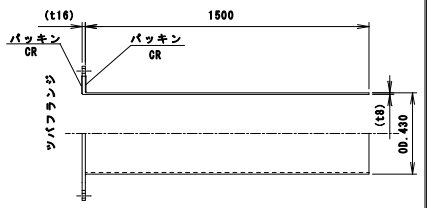
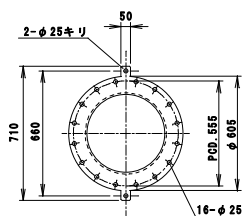
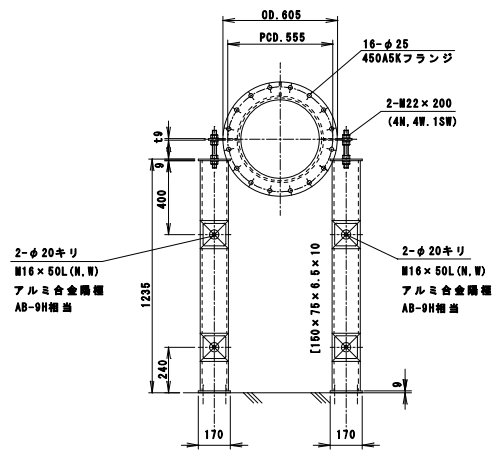
受継台配置



エルボ管
 材質：SS400, PY400相当
 塗装：ナイロンコーティング
 防食：アルミ合金陽極付



貫通管インナーパイプ
 材質：FRP相当
 (パイプ内面、フランジ面は平滑仕上げ)

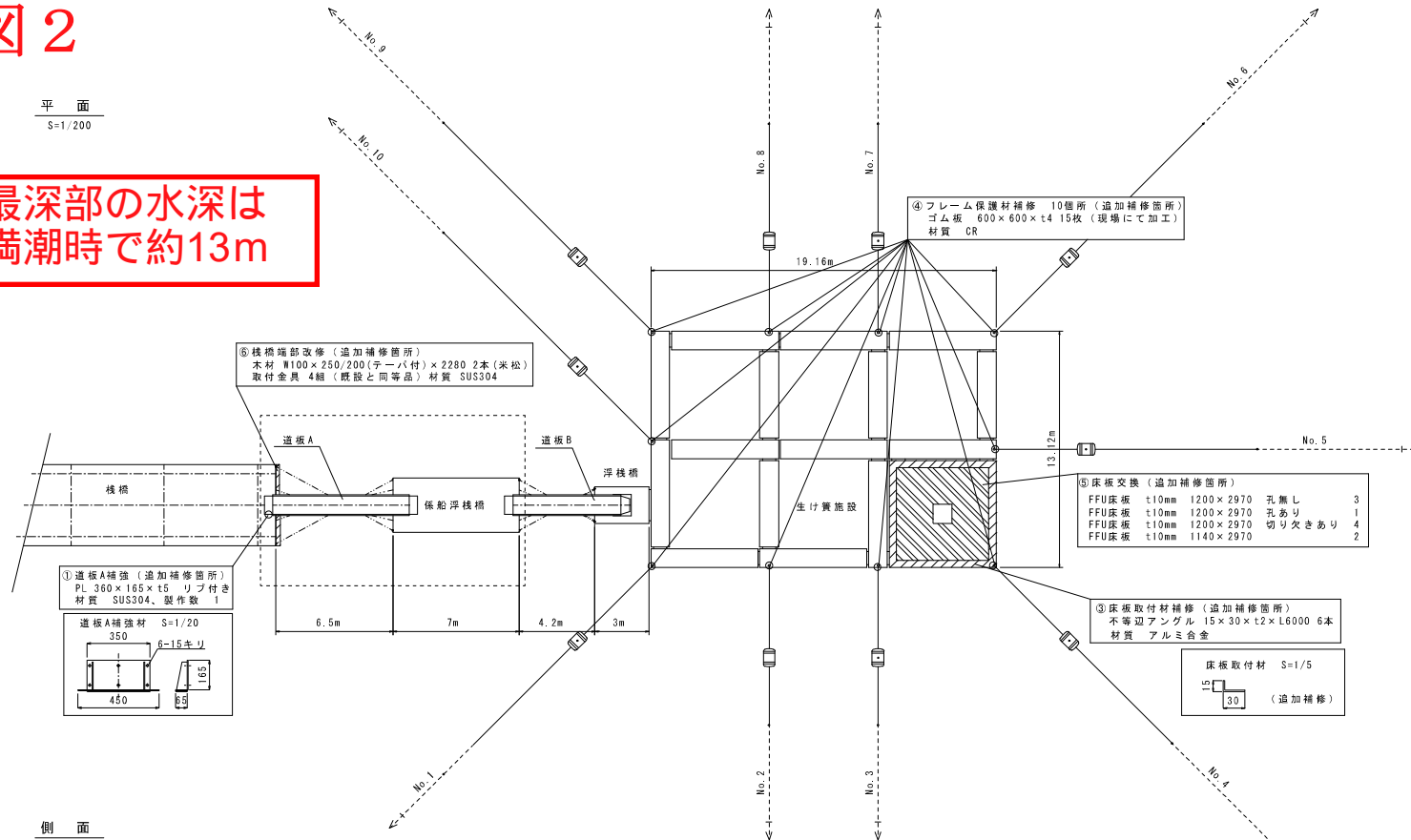


記 *				2018年 7月20日			工事名称	縮尺	図面NO.
				承認	検閲	担当	竣工図 着水槽内エルボ管図	S-1/20	
							図面名称		9

図 2

平面
S=1/200

最深部の水深は
満潮時で約13m



改修部品		
名称	数量	備考
フロート	67個	1000×1000×400相当
ダンパーフロート	10個	浮力: 約200kg
金 鎖	10基	430kg
アオリ板	4枚	道板部(アルミ製)
支承板	3枚	道板部(SUS製)
ローラー	6個	道板部(樹脂製)

新設係留索 (シャックル等を含む)			
No.	ロープ長(m)	チェーン長(m)	全長(m)
1	16	9	25
2	24	14	38
3	24	14	38
4	24	14	38
5	24	14	38
6	24	14	38
7	16	9	25
8	16	9	25
9	16	9	25
10	16	9	25

- 追加補修内容
- 道板A補強
道板Aのフレーム破損部分をSUS304製の補強金具で補強。
個所数 1
 - フロート取付材補修
腐食したフロート受け上にゴム板および穴あきFBを取り付け補修。
個所数 268
 - 床板取付材補修
実験用棧橋外周の床板押え材を交換。
アルミ合金製不平等アングルをビス止め。
フレーム保護材補修
係留柱周辺腐食部へ、ゴム板を現地加工しビス止め。
個所数 10
 - 床板交換
実験用棧橋の床板交換(材質FFU)。
 - 棧橋端部改修
棧橋端部の道板A接船部の木材等の交換

側面
S=1/200

